



◆秩序・友情・実践 ～海の学習～（5年生）



5年生が海の学習を終えて、活動をととして学んだこと、全校のみんなに紹介したいことをまとめました。（職員室横に掲示しています。）どの子も粋いっぱい自分の思いを丁寧に書いています。

心配された天気もなんとかもち、カッター研修・地引き網と日ごろは経験することができない活動を行うことができました。

出発の際に、この2日間「全力で」取り組み、悔いなくやり切ろうと伝えました。そして、担任からも「苦しいときこそ一歩前へ!」と子どもたちへ思いを伝えました。みんなキラキラと輝く瞳で聞き、元気よく出発しました。

活動を終えて戻ってきた5年生は、確かにひとまわり成長しているなど感じます。行事や朝礼でのきびきびとした集合の様子、言われなくても考えて行動しようとする姿、そして、今まで以上に仲間を大切にしようとする姿など、高学年としての自覚もさらに芽生えた様子です。

「学校の『校風』は高学年がつくっていくよ」と6年生にはよく伝えています。5年生も「頼れる高学年」として、西小学校を前向きにリードしてくれることと思います。

◆思いやりを感じながら ～ふれあい人権スポーツ教室～（5・6年生）



12日（木）に、岡山シーガルズの選手方を招き「ふれあい人権スポーツ教室」が行われ、5・6年生が参加しました。

この教室は、人権擁護委員の方や行政の人権担当の方が計画し、県内の学校で実施されています。スポーツ選手と交流する中で、思いやりの大切さを確認し、人権への理解を深めることをねらいとしています。

当日は、4人の選手（2名は現在コーチ）と一緒に活動しました。力強いサーブや勢いのあるアタックを目の前で見た子どもたちからは「おお!」「すごい!」と歓声が上がりました。

一番盛り上がったのは、円になってボールをつなぎ合う活動でした。選手から「お互いのことを考えて、みんなが楽しく活動するために大切なことを考えてやろう。」という目標を聞いた子どもたちは、自然と声を出し「はい!」「いいよ!」「どんまい!」と励まし合いながらボールをつなぎました。みんな笑顔😊

選手から、自分の経験を踏まえたメッセージも聞きました。つらかった時に仲間を支えられたこと、相手の言葉を前向きに受け止めると考え方も変わること、そして、それぞれ違いがあることを認め合って生きていってほしいことなど、心に響く話をいただきました。・・・活動後に子どもたちは振り返りのアンケートを書きましたが、

どの感想も、大切なメッセージをきちんと受け止めて、自分の気持ちを書くことができていたことに感心しました。

